

**Pioneer** *sound.vision.soul*

コンパクトディスクプレーヤー

# CDJ-200

取扱説明書

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO  
TEXT

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。


## 安全上のご注意


### 安全に正しくお使いいただくために

#### 絵表示について


この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


#### 絵表示の例

 △記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。


 ⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。


 ●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。


 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

## 警告


#### 【異常時の処置】

 ● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

 ● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 ● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

#### 【設置】

 ● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

## 警告



● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

#### 【使用環境】



● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

#### 【使用方法】



● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## 警告



● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。



● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

## 注意

### (設置)



● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。



● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



● 電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

## 注意



● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

### (使用方法)



● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



指のケガに注意

● お子様がかセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。



● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

### (保守・点検)



● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。



● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

# オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、DJ用アナログプレーヤー以上の操作性/音質/機能を備えたDJ向けCDプレーヤーです。

## DIGITAL JOG BREAK

**オリジナルな音の演出ができるデジタルジョグブレイク搭載。**  
3つのボタンにそれぞれ異なったリミックスアシスト機能[JET]、[ZIP]、[WAH]を搭載。好きな機能を選択し、曲に合わせてジョグダイヤルをコントロールすれば、新たなリミックスの世界が広がります。

## JOG DIAL

アナログターンテーブル感覚でビートのズレが補正できる直径100mmの大型ダイヤル。

### ■ PITCH BEND

ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

### ■ FRAME SEARCH

ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75秒)単位でポーズ位置を移動できます。

### ■ SUPER FAST SEARCH

マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチより速いサーチができます。

## TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100mmの高性能スライダー0.02%単位(±6%レンジ)のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

### ■ TEMPO CONTROL RANGE

最大可変範囲が±6%、±10%、±16%の3段階に設定でき、より使いやすくなりました。

### ■ MASTER TEMPO

曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

## CUE

### ■ BACK CUE

キューポイントをメモリーして音出した後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

### ■ AUTO CUE

曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

### ■ CUE POINT SAMPLER

メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

## REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループアウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

## RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能です。ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、様々な可能性が広がります。

## PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

## SLOT IN

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

## FADER START

DJミキサーDJM-500、DJM-600、DJM-300、DJM-3000、DJM-909またはDJM-707と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

## RELAY PLAY

2台のCDJ-200を接続して自動交互再生。一方の曲が終わると同時にもう一方のスタンバイ状態が解除され、瞬時に自動的に曲がスタートします。

## OIL DAMPER FLOAT

振動・衝撃に強いオイルダンパーフロート構造採用。再生中の操作による衝撃や床からの振動などが加わっても音飛びの発生しにくいオイルダンパーフロート構造を採用しました。

## MULTI READ

CD-R、CD-RW ディスクの再生も可能(ただし、ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズ等により正しく再生できない場合もあります)。

## CD TEXT

CD TEXT 対応のCDでCD TEXTを表示します。

# MP3再生について

MP3再生を行うためには、下記フォーマットに従っていることが必要です。

MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、48kHz、ビットレート 32Kbps～320Kbpsに対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3のサンプリング周波数 16kHz、22.05kHz、24kHz、ビットレート 16Kbps～160Kbpsに対応しています。
		可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) は対応していません。
	ID3 タグ	ファイル名、アーティスト、アルバム名のみ表示します。ID3 タグのタイトルは表示されません。
Disc フォーマット	ファイル拡張子	.mp3、.MP3、.mP3、.Mp3
	フォルダ階層	最大 8 階層 8 階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
	最大フォルダ数	99 (フォルダ 99+ルート 1)
	最大ファイル数	999 (1 フォルダにつき)
	マルチセッション	マルチセッションには対応していません。 マルチセッションディスクの時は、最初のセッションのみ再生します。
	CD-R 記録方式	ISO9660 CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。 ディスクアットワンスまたはトラックアットワンスのみ対応しています。 パケットライトは対応していません。

※ テキストモードで表示される曲名は、ファイル名になります。

※ ファイルソート機能はありません。ディスクに記録された順で再生します。

## 仕 様

### 1. 一般

形式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム  
 使用ディスク ..... コンパクトディスク  
 電源 ..... AC 100V、50/60Hz  
 消費電力 ..... 11W  
 動作温度 ..... +5℃～+35℃  
 動作湿度 ..... 5～85% (結露のないこと)  
 質量 ..... 3.2kg  
 最大外形寸法 ... 216 (幅) × 292 (奥行) × 99.5 (高さ) mm

### 2. オーディオ部

周波数特性 ..... 4Hz～20kHz  
 SN比 ..... 110dB 以上 (JEITA)  
 歪率 ..... 0.006% (JEITA)

### 3. 付属品

- 取扱説明書 ..... 1
- 電源コード ..... 1
- オーディオケーブル ..... 1
- コントロールコード ..... 1
- 強制イジェクトピン (本体底面に装着) ..... 1
- 保証書 ..... 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## 目 次

### ご使用の前に

<b>安全上のご注意</b> .....	2
オペレーションガイド .....	4
MP3の再生について .....	5
仕 様 .....	5
設置上のご注意 .....	6
接続のしかた .....	7
各部の名称と働き .....	9

### 操 作

ディスクの入れ方・出し方 .....	11
操作のしかた .....	12
オートキュー機能 .....	12
再生を始めるには .....	12
レジューム機能について .....	12
再生を終了するには .....	12
再生を一時停止するには .....	12
ジョグダイヤルの機能 .....	12
早送り/早戻しをするには .....	13
スキップするには .....	13
フォルダサーチするには .....	13
再生スピードを変えるには .....	13
マスターテンポをかける .....	13
デジタルジョグブレイク .....	14
キューポイントの設定 .....	14
違う曲どうしをミックスする(つなぎ) .....	15
ループ再生をするには .....	15
フェーダースタートプレイについて .....	16
2台のプレーヤーを使ったリレープレイ .....	16

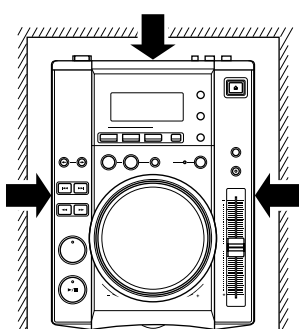
### その他

故障? ちょっと調べてください .....	17
保証とアフターサービスについて .....	19
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .....	裏表紙

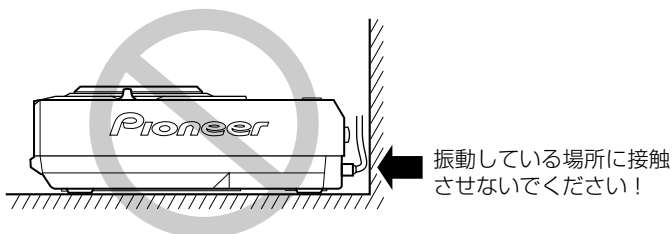
## 設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。



- 放熱効果を得るため、必ず空間をあけてください。



### 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

### CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「アフターサービスについて」(P.19)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

### コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

## 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ディスクの取り扱いについて

右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



- SACDハイブリッドディスクは再生できません。

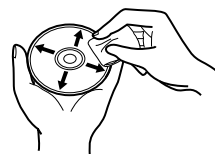
- 信号面をさわらないようにしてください。
- 信号面傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って不具合を発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- 特殊な形のディスクについて
  - 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

### ■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。



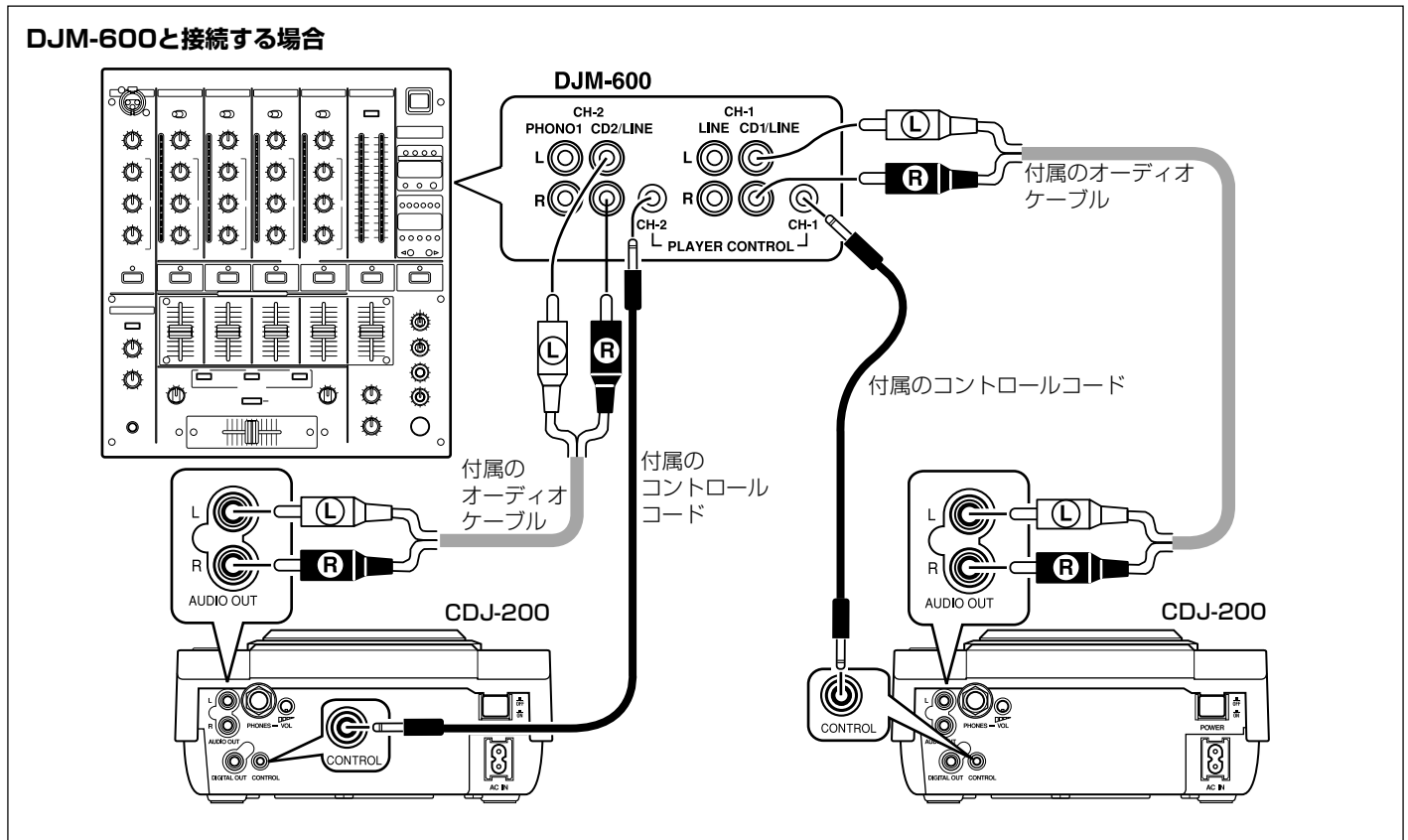
## 接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

### 1. DJミキサー(DJM-600、DJM-500、DJM-300、DJM-3000、DJM-909、DJM-707)との接続(音声出力およびコントロール端子の接続)

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。

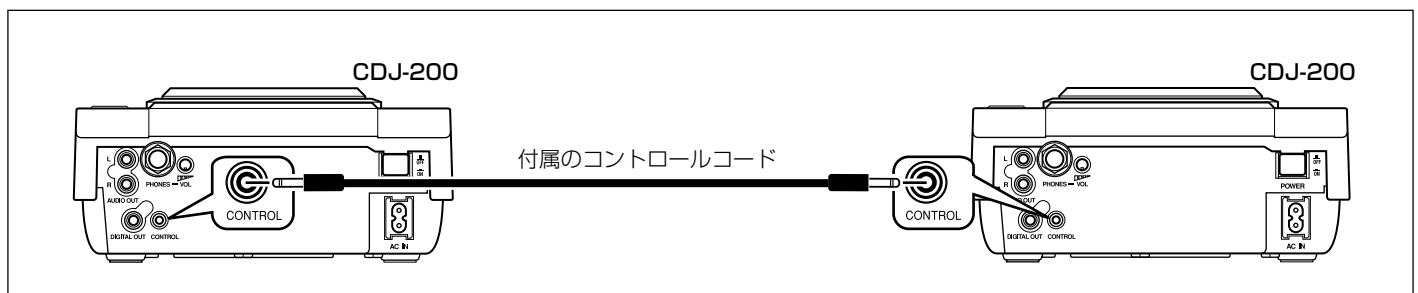
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。



- DJM-300、DJM-500と接続する場合は、上記同様に接続してください。
- DJM-909、DJM-707と接続する場合は、CH-1 CDとA PLAYER、CH-2 CDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。
- その他のオーディオミキサーと接続する場合は、本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。(★ PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。)

### 2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

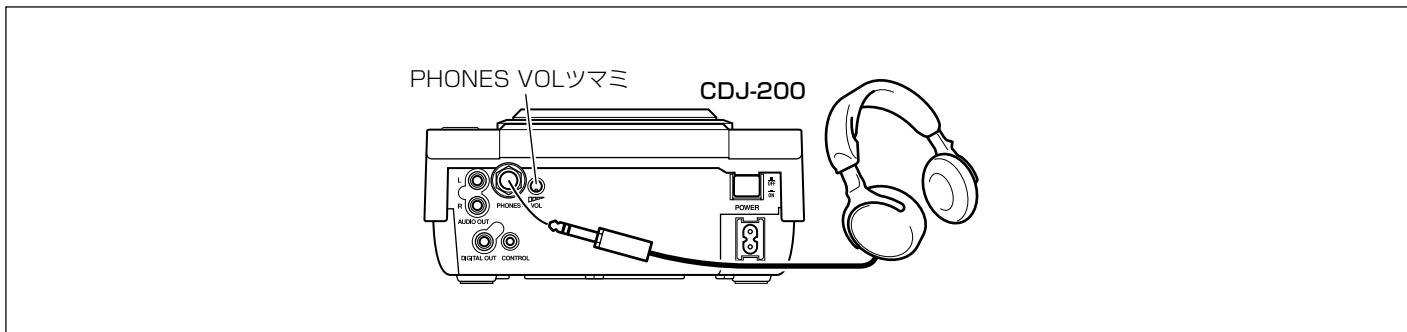
付属のコントロールコードで2台のDJ用プレイヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行うことができます。(P.16)



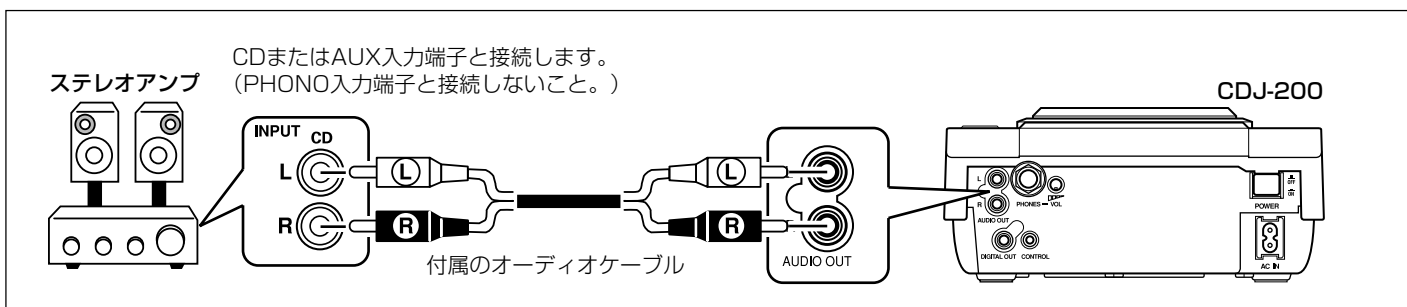
### 3. その他の機器との接続

#### ① ヘッドホンの接続

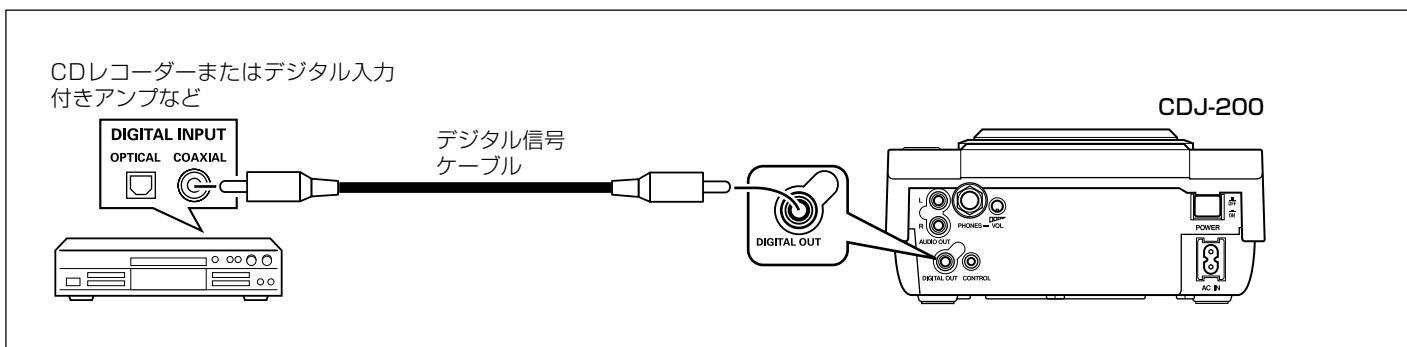
- φ6.3のフォンプラグのヘッドホンを接続できます。
- PHONES VOLツマミで音量を調整できます。



#### ② ステレオアンプとの接続(DJミキサーを使わない場合)



#### ③ デジタル入力端子付き機器との接続



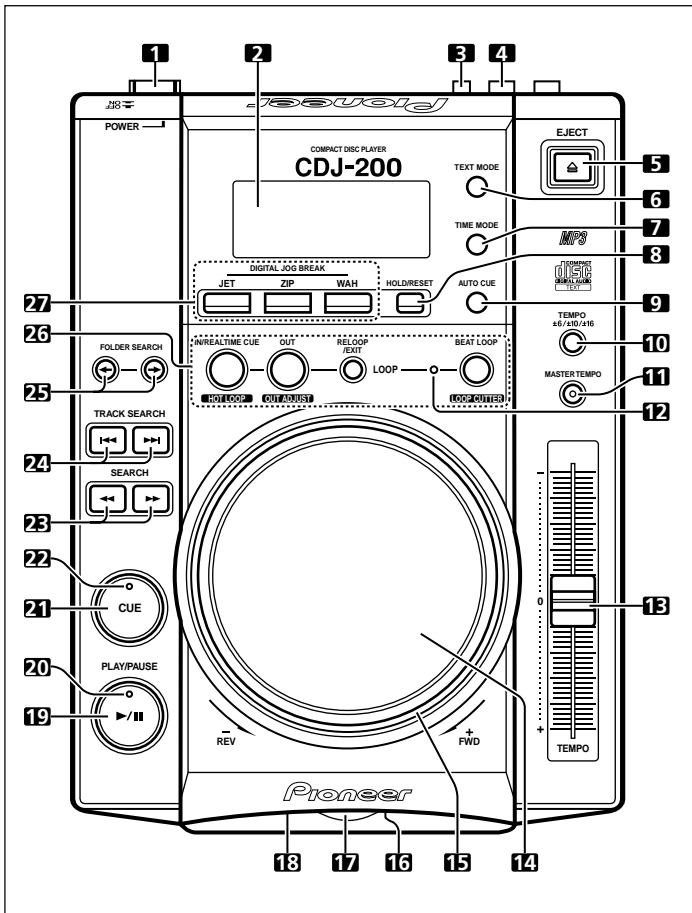
- デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます(CDグラフィックス非対応)。
- デジタル出力端子からのオーディオデータは、DJ機能が制限されることはありません。

### 4. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー部後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。



## 各部の名称と働き



### 1 電源スイッチ(POWER ■OFF/■ON)

本機の後面にあります。本機の電源をオン/オフします。

### 2 表示部

31~47参照

### 3 ヘッドホンボリュームつまみ(PHONES VOL)

本機の後面にあります。ヘッドホンの音量を調整します。

### 4 ヘッドホンジャック(PHONES)

本機の後面にあります。φ6.3mmのフォンプラグ付きヘッドホンを接続できます。

### 5 イジェクトボタン(EJECT▲)

ディスクを排出します。(P.11)

### 6 テキストモードボタン(TEXT MODE)

TEXT表示を切り換えます。(P.10)

### 7 タイムモードボタン(TIME MODE)

曲残量時間と経過時間の表示を切り換えます。(P.10)

### 8 ホールドボタン(HOLD/RESET)

デジタルジョグブレイクのエフェクト状態を保持します。(P.14)

### 9 オートキューボタン(AUTO CUE)

オートキュー機能をオン/オフします。(P.12)

### 10 テンポレンジボタン(TEMPO ±6/±10/±16)

テンポ可変範囲を切り換えます。(P.13)

### 11 マスターテンポボタン/インジケータ (MASTER TEMPO)

マスターテンポ機能をオン/オフします(オン時に点灯)。(P.13)

### 12 ビートループインジケータ

ループ再生時にループインポイントで点灯します。

### 13 テンポ調整つまみ(TEMPO)

曲のテンポ(再生スピード)を調整します。(P.13)

### 14 ジョグダイヤル(-REV/+FWD)

### 15 ジョグインジケータ

- ディスクが挿入されていないとき、消灯します。
- ディスクが挿入されていて、通常状態のとき、点灯します。
- デジタルジョグブレイクがオンのとき、早く点滅します。
- デジタルジョグブレイクがホールドオンしているとき、ゆっくり点滅します。

### 16 ディスクインジケータ

前面部にあります。

- ディスクが挿入されていないとき、点灯します。
- ディスクのローディング中とアンローディング中に点滅します。
- ディスクのローディングを完了すると、消灯します。

### 17 ディスク挿入口

前面部にあります。(P.11)

### 18 強制イジェクトホール

前面部にあります。(P.11)

### 19 プレイ/ポーズボタン(PLAY/PAUSE ▶/■)

プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

### 20 キューボタン(CUE)

キューポイントの設定・確認を行います。(P.14)

### 21 キューインジケータ(CUE)

キューポイントが設定されると点灯し、ポーズ時に点滅します。

### 22 サーチボタン(SEARCH ◀◀, ▶▶)

再生中に音を出しながらフォワード、リバース方向への早送りをします。(P.13)

### 23 トラックサーチボタン(TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶)

フォワード、リバース方向へ選曲(トラック送り)します。(P.13)

### 24 フォルダサーチボタン(FOLDER SEARCH ◀, ▶)

階層構造のCD-ROMで、フォワード、リバース方向へフォルダを選択(フォルダ送り)します。(P.13)

### 25 ループボタン

#### ■ ループイン/リアルタイムキュー/ホットループボタン/インジケータ(IN/REALTIME CUE/HOT LOOP)

ループインポイントを入力します(IN P.15)。再生中にそのポイントをキューポイントにします(REALTIME CUE P.14)。

ループ再生中に押し、ループインポイントに戻って再生します(HOT LOOP P.15)。

#### ■ ループアウト/アウトアジャストボタン/インジケータ(OUT/OUT ADJUST)

ループアウトポイントを入力します(OUT P.15)。ループ再生中に押し、ループアウトポイントを修正できます(OUT ADJUST P.16)。

#### ■ リ・ループ/イグジットボタン(RELOOP/EXIT)

ループ再生終了後、保持されているループイン・アウトデータに従って、再度ループ再生を行います(RELOOP P.16)。ループ再生中に押し、ループ再生を終了して通常の再生に戻ります(EXIT P.15)。

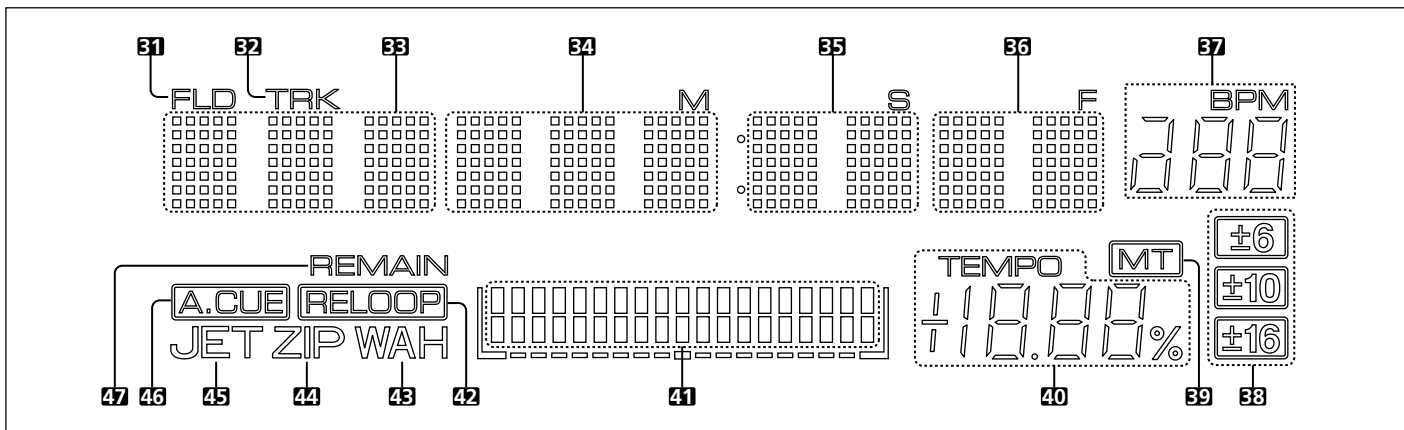
■ ビートループ/ループカッターボタン  
(BEAT LOOP/LOOP CUTTER)

プレイまたはポーズ中に押すと、曲のBPM (Beat Per Minutes) からループエンドを決定し、ループ再生を開始します (BEAT LOOP⇨P.15)。

ループ再生中に押すと、ループが半分の長さになります (LOOP CUTTER⇨P.15)。

27 デジタルジョグブレイクボタン(DIGITAL JOG BREAK)

JET、ZIP、WAHの各効果をそれぞれオン/オフします (⇨P.14)。



表示部

31 FLD

フォルダナンバー表示時に点灯します。

32 TRK

トラックナンバー表示時に点灯します。

33 ドットマトリックス表示(7×5)×3

フォルダナンバーまたはトラックナンバーまたは文字表示を行います。

34 ドットマトリックス表示(7×5)×3

時間表示(分)または文字表示を行います。

35 ドットマトリックス表示(7×5)×2

時間表示(秒)または文字表示を行います。

36 ドットマトリックス表示(7×5)×2

時間表示(フレーム)または文字表示を行います。

37 BPM

表示しているトラックのBPMを表示します。

38 ±6、±10、±16

テンポレンジを点灯表示します。

39 MT

マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

40 TEMPO

テンポの変化率を表示します。

41 プレイングアドレス表示

演奏位置を1曲フルスケールで表示します。

経過時間表示の時は左側から点灯し、残量時間表示の時は左側から消灯します。

曲残量が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。

42 RELOOP

リ・ループスタンバイ時とループ動作中に点灯します。

43 WAH

デジタルジョグブレイクWAHがオンの時に点滅します。

44 ZIP

デジタルジョグブレイクZIPがオンの時に点滅します。

45 JET

デジタルジョグブレイクJETがオンの時に点滅します。

46 A.CUE

オートキュー機能がオンの時に点灯します。

47 REMAIN

曲残量時間表示時に点灯します。

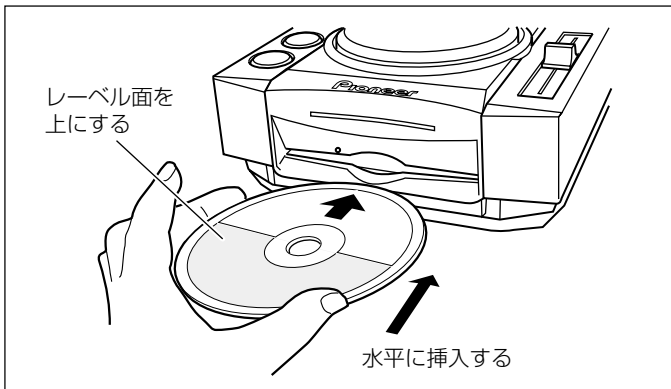
時間表示について

- TIME MODEボタンを押すとタイムモードになり、押すごとに経過時間(TIME)と1曲残量時間(REMAIN)を切り換えます。
- 電源をオフにしても表示モードは保持されます。

TEXTの表示について

- CD-TEXT、MP3再生時にTEXT MODEボタンを押すと、押すごとにドットマトリックス表示部に、曲タイトル(MP3再生時はファイル名)→アルバムタイトル→アーティスト表示を行います。
- TEXTが記録されていない場合は、「NO TEXT」と表示されません。
- 表示できる文字数は48文字までです。
- 一度に表示できない文字数のときは、スクロール表示を行います。
- 時間表示に戻すときは、TIME MODEボタンを押します。

## ディスクの入れ方・出し方




### 1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態ではディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

### 2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- 8cmディスクの場合はアダプターを装着してください。
- 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

### CDシングル(8cmディスク)を再生するときのご注意：

- ① CDシングル(8cmディスク)を再生するときは、必ず8cm CDアダプターを使用してください。CDプレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8cmディスクを挿入したときは、直ちにイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。イジェクトボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。
- ② 8cmディスク用アダプターは  マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

### 3. EJECTボタン(▲)を押してディスクを取り出す。

- ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
- EJECTボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。

#### ■ イジェクトを中止する

誤ってEJECTボタンを押してしまった場合、すぐに「[EJECT]」が表示される前までに)PLAY/PAUSEボタンを押すと、EJECTボタンを押す直前の状態に復帰します(この間、音声出力は停止します)。

#### ご注意：

「[EJECT]」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「[EJECT]」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「[EJECT]」表示が消えてからディスクを挿入してください。

## ディスクの強制イジェクトについて

イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。

強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

- ① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

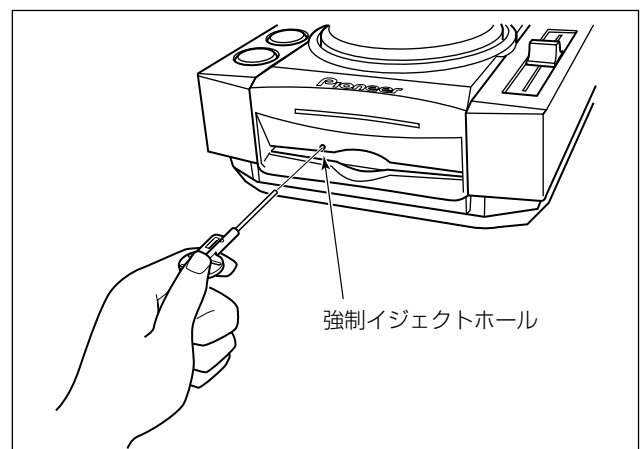


電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

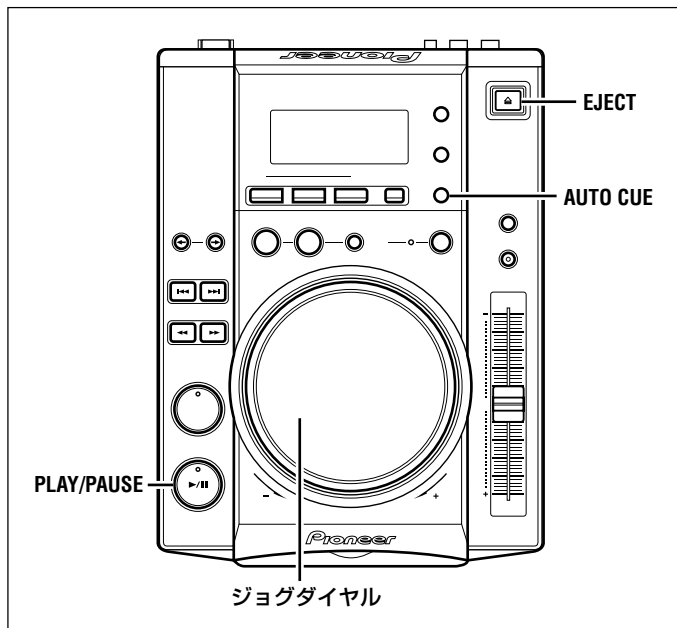
- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きます。

- ② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。

付属品のピンを強制イジェクトホールに根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5~10mmほど出ますので、指でつまんで引き抜いてください。



## 操作のしかた



### レジューム機能について

イジェクト後に再度同じディスクをプレーヤーに挿入すると、そのディスクをイジェクトした直前の状態になります。ただし、デジタルジョグブレイクは復帰しません。再生を開始する前にTRACK SEARCHボタンを押すと、通常通りトラックサーチをした後再生します。

### 再生を終了するには

#### 1. EJECTボタン(▲)を押す。

- 再生を終了し、ディスクが出てきます。
- 本機にはストップボタンはありません。
- 誤ってEJECTボタンを押してしまった場合、すぐに「EJECT」が表示される前までにPLAY/PAUSEボタンを押すと、EJECTボタンを押す直前の状態に復帰します(この間、音声出力は停止します)。

### 再生を一時停止するには

#### 再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。

- PLAY/PAUSEボタンのインジケーターとCUEボタンのインジケーターが点滅し、再生を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- ポーズ中も再生音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ポーズ状態で100分以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば、1曲目から再生を再開します。

### ジョグダイヤルの機能

#### [ピッチベンド]

##### 再生中に回す。

- 回転させた分、加速(FWD+ =時計回り)・減速(REV- =反時計回り)します。ほぼリニアに±20%まで変化します。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。
- デジタルジョグブレイク機能が動作中はピッチベンドは動きません。

#### [フレームサーチ]

##### ポーズ時に回す。

- 1フレーム単位で音出しポーズ位置を移動します。
- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向にサーチします。
- ジョグダイヤルを1回転すると48フレーム送ります。

#### [キューポイント修正]

⇨P.14「キューポイントの修正」

#### [スーパー・ファースト・サーチ]

⇨P.13「スーパー・ファースト・サーチ」

#### [スーパー・ファースト・トラックサーチ]

⇨P.13「スーパー・ファースト・トラックサーチ」

#### [スーパー・ファースト・フォルダサーチ]

⇨P.13「スーパー・ファースト・フォルダサーチ」

#### [デジタルジョグブレイク]

⇨P.14「デジタルジョグブレイク」

### オートキュー機能

ディスクをセットした時とトラックサーチの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P.14)を自動的に行う機能です。

#### ● オン/オフするには

- AUTO CUEボタンを押すとオートキュー機能をオン/オフできます。表示部のオートキューインジケーター(A.CUE)が点灯するとオンです。
- 電源をオフしてもオートキューのオン/オフ状態は記憶されません。
  - オートキューレベルは-60dB固定です。

### 再生を始めるには

#### 1. プレーヤーにディスクを入れる。

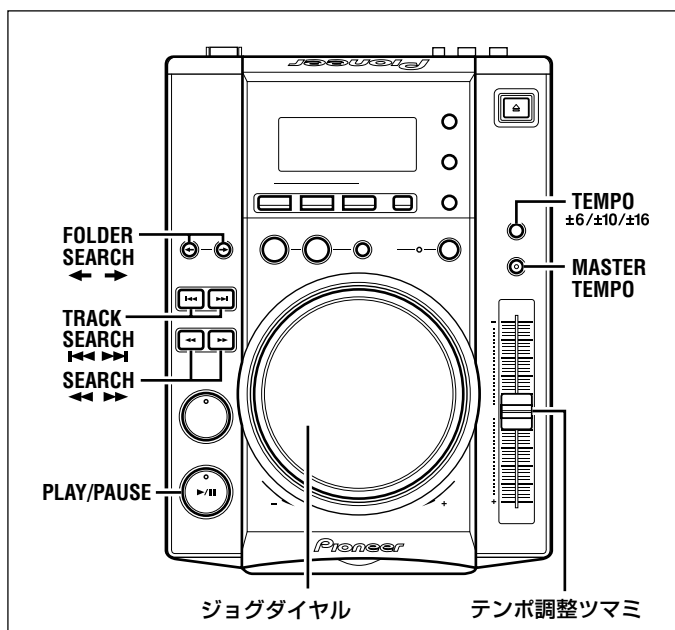
- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に1枚だけ挿入してください。(⇨P.11)
- ファーストセッションにMP3ファイルがないCD-ROMを挿入すると「NO TRACK」と表示し、再生されません。

#### 2. オートキュー機能オン時は、PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。

- 表示部の時間表示が点灯してから押してください。表示したトラックの無音部分を飛ばして、瞬時に再生を始めます。1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをします。CUEボタンのインジケーターが点灯し、PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)のインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押すと次曲の再生がスタートします。

#### オートキュー機能オフ時は、一曲目から再生が自動的に始まります。

- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に再生を続けます。



## ■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってトラック番号を指定方向へ送ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

## フォルダサーチするには

階層構造を持っているCD-ROMから選曲するときには使用します。CD-DA再生時は動作しません。

### ■ フォルダサーチボタン(←、→)による操作

FOLDER SEARCHボタン(←、→)を押す。

- 1回押す毎にフォルダ番号とフォルダ名が表示されてフォルダが指定方向に送られます。ルートディレクトリでは、フォルダ番号「00」、フォルダ名「ROOT」が表示されます。
- FOLDER SEARCHボタンを押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 一番若いフォルダからバックすると、最終フォルダをサーチします。最終フォルダから進めると、一番若いフォルダをサーチします。
- テキストモードを選択しているときは、フォルダサーチ後フォルダ番号とフォルダ名を表示し、その後フォルダ先頭のトラック番号とファイル名の表示に変わります。タイムモードが選択されているときは、ファイル名は表示されません。
- 再生可能なトラックのないフォルダ(空きフォルダ)は無視され、次のフォルダをサーチします。

### ■ スーパー・ファースト・フォルダサーチ

FOLDER SEARCHボタン(←、→)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってフォルダ番号を指定方向へ送ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。FOLDER SEARCHボタンの方向は無視されます。
- FOLDER SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

## 再生スピードを変えるには

テンポ調整ツマミを前後にスライドする。

手前(+)に動かすと再生が早くなり、奥(-)に動かすと再生が遅くなります。センタークリックが標準スピードです。

- 再生スピード(テンポ)の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます。(⇒次項「マスターテンポをかける」)。

### ■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO ±6/±10/±16ボタンを押す。

押す度にテンポ調整ツマミの可変範囲(±6%/±10%/±16%)が切り替わります。±6%では0.02%単位、±10%では0.05%単位、±16%では0.05%単位で調整できます。

- 可変範囲の設定値は表示部に表示されます。
- 電源オン時は±10%に設定されます。

## マスターテンポをかける

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

MASTER TEMPOボタンと表示部の「MT」が点灯し、テンポ調整つまみでスピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。

## 早送り／早戻しをするには

### ■ サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- ▶▶ボタンを押している間、早送ります。
- ◀◀ボタンを押している間、早戻します。
- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

### ■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

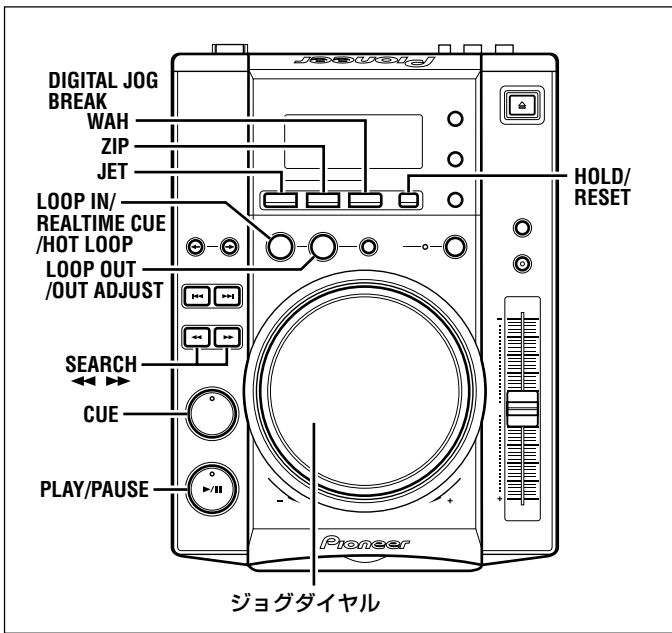
- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

## スキップするには

### ■ トラックサーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

TRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- 1回押す毎に、指定方向の曲にスキップします(再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回◀◀を押してください)。MP3のときは、指定された方向で最初に見つかったトラックにスキップし、同一フォルダ内のみがスキップの対象になります。CD-ROMディスクを挿入し、フォルダサーチをしなかった場合は、ルートディレクトリに入っているトラックだけがスキップの対象になります。ただし、ルートディレクトリにトラックがない場合は、フォルダの一番若い番号のトラックから再生します。
- オートキューがオンのときは、スキップ後に曲の頭でキュースタンバイ状態になります。
- TRACK SEARCHボタンを押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで続けて2回◀◀を押すと最終曲にスキップします。MP3のときは、一番若い番号のトラックからバックすると、同一フォルダ内の最終トラックへスキップします。
- 最終曲から▶▶を押すと最初の曲(トラックNo. 1)にスキップします。MP3のときは、最終トラックから進めると、同一フォルダ内の一番若い番号のトラックへスキップします。



## デジタルジョグブレイク

再生中、DIGITAL JOG BREAKボタン(JET、ZIP、WAH)の1つを押す。

- 表示部の選択されたエフェクトのインジケータが点滅し、ジョグダイヤルの回転に応じて、それぞれの効果が変化します。
- デジタルジョグブレイク機能がオンしている間、ジョグインジケータが点滅します。

### JETについて

ジョグダイヤルの回転に従いディレイタイムを変化させて再生音にショートディレイをミックスし、相互の音の間に干渉を起こさせて「シュワー」という感じの効果音を出します。

- ディレイ時間はジョグの回転に応じて、静止時の0msから最大3msまで変化します。
- 回転を続けると0~3msを繰り返して変化します。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、元の原音だけの状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。

### ZIPについて

ジョグダイヤルの回転に従いピッチを変化させて再生音に効果を出します。

- ピッチはジョグの回転に応じて変化し、静止時は0%、時計回りでは最大100%(音程が1オクターブ上がる)、反時計回りでは最大-1500%(音程が15オクターブ下がる、ただし可聴音ではなくなる)となります。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、元の原音の状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。

### WAHについて

ジョグダイヤルの回転に応じてカットオフ周波数が変化する-12dB/オクターブのフィルターを掛けます。

- 時計回りでは最大4kHzのハイパスフィルター、反時計回りでは最小150Hzのローパスフィルターになります。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、元の原音の状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。

## [HOLD機能]

ジョグダイヤルの回転で得られた効果を、ジョグダイヤルの回転を止めても維持する機能です。

デジタルジョグブレイク機能を使用中にHOLDボタンを押す。

- 表示部の「JET」、「ZIP」、「WAH」インジケータが点滅から点灯に変わり、ジョグダイヤルの回転を止めてもその時点のエフェクトを維持します。
- タイムモードが選択されていてHOLD機能がオンしているときは、時間表示部に一定間隔でHOLD表示(「JET-HOLD」、「ZIP-HOLD」、「WAH-HOLD」)が行われます。テキストモードが選択されているときは、表示されません。
- ホールド機能がオンしているときは、エフェクトを切り換えてもホールドをオフにしない限り、切り換える前の設定を記憶しています。

## キューポイントの設定

キューポイントをメモリーしておく、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して一時停止状態にする。
2. キューポイントの正確な位置を探す。

### ● フレームナンバーでキューポイントを決める。

1フレーム単位(75フレーム=1秒)で頭出しの位置が設定できます。

ジョグダイヤルまたはSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で48フレーム、サーチボタンを押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。MP3のときは同一フォルダ内のみフレームを送ることができます。

### ● 音声を聞いてキューポイントを決める。

ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

3. フレームナンバー、または音声为目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。

● 音声ミュートされ、表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。

● 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

## 【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. サーチボタン(◀◀、▶▶)を押して音出しポーズ状態にする。
3. 上記の「キューポイントの設定」の手順2、手順3を行う。

## ■ リアルタイムキュー

再生中、頭出ししたいポイントでIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

## ■ バックキュー(キューポイントに戻る)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定したキューポイントに戻ります。
  - MP3のときは、同一フォルダ内でのバックキューが可能です。キューポイントは、新しいキューポイントを入力(上書き)しない限り、フォルダサーチ後も記憶しています。
2. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
  - キューポイントから瞬時に再生します。

■ キューポイントサンプラー(キューポイントを確認する)  
 キューポイントを設定後、キュースタンバイ状態でCUEボタンを押す。

- CUEボタンを押しているあいだ、頭出しした音を聞くことができます。
- MP3のときは、同一フォルダ内でのみ頭出しした音を聞くことができます。

## 違う曲どうしをミックスする(つなぎ)

(例) 現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
  - トリム、CHフェーダー、マスターボリュームを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。
1. DJミキサーのCROSS FADERツマミを左側(CH1側)にしておく。
    - 曲Aがスピーカーから出ています。
  2. プレーヤーCD2にCDをセットする。
  3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押して曲Bを選ぶ。
  4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。
  5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。
  6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
    - ① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
      - 音出しポーズ状態になります。
    - ② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
    - ③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
      - 無音になり、頭出しを完了します。
  7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
    - ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。
  8. プレーヤーのTEMPOツマミを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Per Minutes)を合わせる。
 

曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOツマミを動かす。

    - BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。
  9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
    - プレーヤーCD2はキューポイントでポーズ状態になります。
  10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
    - 曲Bがスタートします。
  11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERツマミを徐々に右側に動かす。
    - スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
    - DJミキサーのCROSS FADERツマミが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

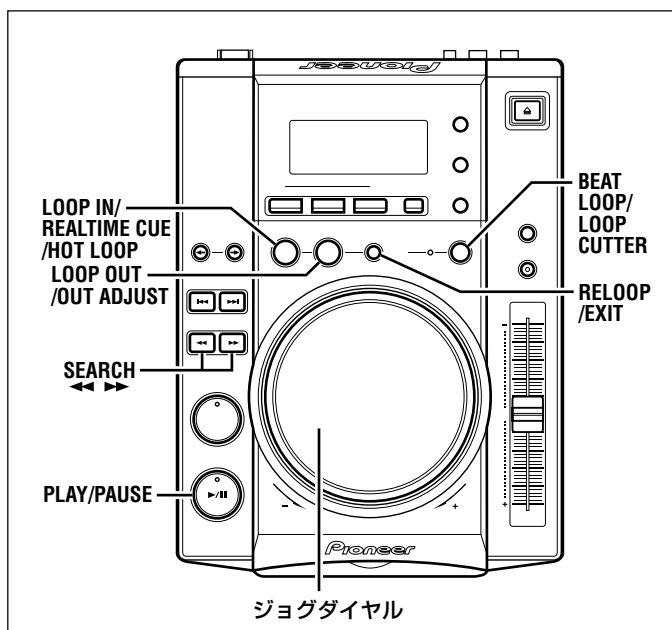
### ■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、CROSS FADERツマミが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

### ■ フェーダースタートプレイ

DJM-600/DJM-500/DJM-300/DJM-3000/DJM-909/DJM-707のクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。

さらに、CROSS FADERツマミを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。



## ループ再生するには

### ■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して再生する。
2. 再生中に、ループインポイントでIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。
  - あらかじめ記録してあるキューポイントでループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
3. 再生中、ループアウトポイントでOUT/OUT ADJUSTボタンを押す。
  - インポイントからアウトポイント間でループ再生を開始します。
  - フレームサーチを使えば、フレーム単位でループアウトポイントを設定できます。
  - MP3の場合はキューポイントが設定された同一トラックのみでループが可能です。

### ■ ループアウトポイントを自動設定してループ再生するには(オートビートループ)

再生中(ポーズ中)にBEAT LOOP/LOOP CUTTERボタンを押す。

- 押した時点をループインポイントとし、曲のBPMにしたがって自動的にループアウトポイントを設定し、ループ再生を開始します。
- BPM数値が表示されていない場合は、BPM=130としてLOOP再生を開始します。

### ■ ループを半分の長さにするには(ループカッター)

ループ再生中にBEAT LOOP/LOOP CUTTERボタンを押す。

- 押すたびにループの長さが半分になります(最小は1フレーム)。

### ■ ループ再生中にループインポイントに戻って再度ループ再生するには(ホットループ)

ループ再生中にIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。

- ループインポイントに戻って再度ループ再生を開始します。

### ■ ループを抜け出す(解除する)には

ループ再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

## ■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループ再生中に、OUT/OUT ADJUSTボタンを押す。
  - 表示部にアウトポイントの時間が表示され、OUT/OUT ADJUSTボタンは速い点滅に、IN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
  - 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
  - ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
  - MP3の場合はキューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。
  - OUT/OUT ADJUSTボタンを押すか、約30秒間放置すると修正モードを抜けループ再生に戻ります。

## ■ 再度ループに戻るには(リ・ループ)

- ループ解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。
- 前に設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。ループカッターで長さを短くしてあった場合でも、最初に設定した長さに戻ります。
  - MP3の場合は同一フォルダのみでリ・ループが可能です。

## フェーダースタートプレイについて

本機のコントロール端子(CONTROL)とDJミキサーDJM-300、DJM-500、DJM-600、DJM-3000、DJM-909、DJM-707のコントロール端子(CONTROL)を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレイヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレイヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレイヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。(接続方法は7ページを参照してください。)

## 2台のプレイヤーを使ったリレープレイ

本機および他のCDJシリーズのCDプレイヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。☞ P. 7

- 2台のプレイヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のA.CUEインジケーターが点灯)。
  - DJミキサーのクロスフェーダーツマミはセンター位置にしてください。
1. 先に再生するプレイヤーの再生を開始する。
  2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレイヤーが自動的に再生を開始する。
  3. 始めに再生していたプレイヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。
    - この繰り返しにより、自動的に2台のプレイヤーでの交互再生ができます。
    - 待機中のプレイヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と再生することができます。
    - 待機中のプレイヤーでキューポイントを設定しておく、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。  
☞ P. 14「キューポイントの設定」参照

### ご注意

- 2台のプレイヤーの音声出力端子を、同じDJミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。
- 再生中のプレイヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレイヤーが演奏をはじめることがあります。
- フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。



## 故障?ちょっと調べてください

故障かな?…と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本機以外の原因も考えられます。同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合は、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

症状	考えられる原因	処置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● 電源コードが繋がっていない。	● 電源コンセントへつなぐ。
ディスクを入れても再生が始まらない。	● オートキュー機能がオンになっている。	● AUTO CUEボタンを押して、オートキュー機能をオフにする。
再生をはじめてもすぐに停止してしまう。	● ディスクのくもりなど。	● ディスクのくもりをふき取る。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。 ● DJミキサーを正しく操作していない。  ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。  ● DJミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● PLAY/PAUSEボタン(▶/  )を押して、演奏する。
MP3を再生できない。	● フォーマットが合わない。	● P.5「MP3再生について」をご覧ください。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。  ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● DJミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れをふき取る。
オートキュー機能をオンにしている、トラックサーチが終了しない。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くなる場合がある。	● AUTO CUEボタンを押して、オートキュー機能をオフにする。
再生中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● MP3で別のフォルダ内にキューポイントがある。	● キューポイントを設定する。(14ページ参照) ● MP3でのバックキューは同一フォルダ内のみで可能です。
LOOP OUTボタンを押してもループプレイにならない。	● キューポイント(ループインポイント)を設定していない。 ● MP3で、キューポイント(ループインポイント)が設定してあるトラック以外でLOOP OUTボタンを押した。	● キューポイントを設定する。  ● MP3ではキューポイント(ループインポイント)が設定してあるトラック内でのみループ再生が可能です。
MP3でサーチできない。	● MP3で別のフォルダ内へサーチ(早送り/早戻し)しようとした。	● MP3でのサーチは同一フォルダ内のみで可能です。
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	● 本機が影響している。	● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でもディスクが停止している。	● ポーズ状態で100分以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 ● ディスクの最終曲が終了すると、ディスクの回転を停止します。	● PLAY/PAUSEボタン(▶/  )を押すと1曲目から演奏を開始します。また、EJECTボタン(▲)を押すとディスクが出てきます。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャルディスク)の再生はできません。
- 本機は一般の12cmディスクおよびアダプターを装着した8cmディスク以外の異形ディスクの再生はできません。(故障・事故の原因になることがあります。)
- 本機で測定したBPM値が、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- CD-R/RWディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。

## エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-72 01	TOC READ ERROR	TOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 →ディスクを交換する。
E-83 01 E-83 02 E-83 03	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	ディスクが汚れている。 →ディスクをクリーニングする。 他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E-83 04	MP3 DECODE ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	MP3フォーマットに従っていない。 →MP3フォーマットに従ったディスクに交換する。
E-83 05	DATA FORMAT ERROR		
E-91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク挿入部に異物が入っている。 →異物を取りのぞく。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間と保証内容について

- **保証期間について**  
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**  
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

## 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

## 修理を依頼される時

本書の「故障? ちょっと調べてください」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

- **保証期間中は**  
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所 ・ ご氏名 ・ 電話番号
- 製品名 ・ 型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

- **保証期間が過ぎているときは**  
お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされています。営利的目的での(収益の発生するような、実際の放送(地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット(企業内ネット)あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム(音楽の有料配信など)のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。



**Fraunhofer** Institut  
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

